

災害に備えて… 放水技術を競う！

10月21日、龍ヶ崎市役所北側駐車場で「第63回茨城県ポンプ操法競技大会県南南部地区大会」が開催されました。

この大会はポンプを使った放水技術を競う大会で、採点の基準は速さと正確さです。使用するポンプの種類によって「自動車ポンプの部」と「小型ポンプの部」に分かれますが、牛久市からは「小型ポンプの部」に消防団第28分団（報徳）が出場しました。

ホースや資器材が大会で定められた規格に合っているか確認する



重いホースを取って



放水する団員



健闘した団員たち

資器材点検を終えたあと、応援テント前で出陣式が行われ、牛久市長、牛久市議会議長、牛久消防署長、牛久市消防団長から激励の言葉が贈られました。開会式では、報徳地区の中山副団長を先頭に出場選手が整列し、開催地である龍ヶ崎市の消防団員が選手宣誓を述べました。応援テントには報徳区長や選手の家などたくさんの方が集まり、第28分団の晴れ舞台を応援しました。

第28分団の競技は「小型ポンプの部」に出場した全8チームのうち5番目に行われ、多くの方が見守るなか、日ごろの訓練で培った技を全力で披露しました。

問 交通防災課☎内線1682

ヘルシー&ナチュラルな100%牛久産

牛久産の小麦粉や油があるのをご存じですか？

うしくグリーンファーム(久野町)では、「ゆめかおり」と「ユメシホウ」の2種類の小麦や菜種を生産しています。

すでに学校給食では、この小麦粉や菜種油で調理されたメニューが提供されていますが、ぜひ市民の方にも地元の色を知っていただくこと、同社では小売もしています。何とんでも国産小麦の魅力は「ポストハーベスト(※)なし」ということ。ホームベーカリーの普及率も上がっている

昨今、牛久産小麦のパンを作ってみてはいかがでしょう。また、菜種はじっくりと手絞りでおり、トランス脂肪酸ゼロですので、自然派、健康志向の方にぴったり。学校法人晃陽学園つくば栄養調理製菓専門学校が考案したドレッシングレシピも付いています。

まだまだ多くの農作物を外国に頼っているわが国ですが、このような取り組みが広がれば、地産地消から、やがては自給率向上にもつながるはず。 (※)ポストハーベスト：収穫後の農産物に農薬を使用すること(安全食品 農薬を知らう！より)



牛久産材料を使用したドレッシング

みんなの農業 *うしくスタイル*



問 うしくグリーンファーム(株)
☎ 875-1333